



鹿沼市認定

## 鹿沼の名匠

「ものづくりのまち鹿沼」を熟練の技で牽引する「鹿沼の名匠」。  
鹿沼の産業や文化の振興を担うその技と心意気を紹介しします。

vol.22

### 総桐たんす製作・再生

そめや  
染谷タンス店

よしお  
染谷 佳男さん(下田町2丁目)

#### プロフィール

昭和38年生まれ。  
高校卒業後、埼玉県春日部市で3年半修行した後、家業を受け継ぐ。たんすのほか、鏡台・仏壇・茶筆筒・収納箱等の修理、座卓のリフォームなども手掛ける。

**桐** たんすの製造や修理を専門に行い、昨年創業100年を迎えた「染谷タンス店」。同店の3代目である染谷佳男さんは、この度その優れた技術により「鹿沼の名匠」に認定されました。桐たんすは、江戸時代から作り始められたといわれ、桐材は柔らかく伸縮性に富み、たんす内部の湿度を一定に保つことが出来るため、着物などの保管に適しており、古くから嫁入り道具としても重宝されてきました。

**桐** たんす作りは、まず材料選びから始まります。寸法に合わせ、おおよかに裁断した材料を火であぶり、反りやねじれを直していきます。その後、裁断や鉋削りを経てみぞやほぞ(組み立てるため



### 市民俳壇

春光や朱布新しき六地藏

満作に続く木五倍子や峡の里

静心令和の時代初写経

三ヶ日ひ孫四人の鬼ごっこ

朝刊のバイクのあとや霜柱

雑炊を食みて温もる独り膳

茅屋に春の便りと温い風

おみくじの顔ほころんで帰りけり

### 市民歌壇

冬枯れの色無き庭に椿咲き赫々として辺り華やぐ

台風の爪痕残る黒川の堤に土囊積まれ冬過ぐ

週一度帰る娘の家庭先に黄のクロッカス出迎えくる

入栗野 神山 和子

布川 武勇選

引田 斎藤 良明

榎木町 上野佐喜子

坂田山三丁目 角田 敏枝

中田町 高内シヅエ

下武子町 広田 順一

下粕尾 高田 スイ

見野 松永 勉

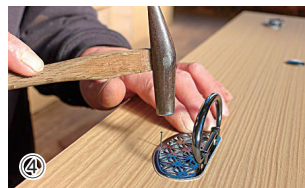
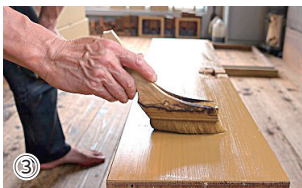
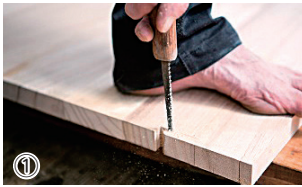
中栗野 大塚 初江

小林 夏江選

万町 中又 令子

千渡 丸山 修一

名前(ふりがな)・住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着分です)。〒321-8601 今宮町1-68-801  
メール koho@city.kanuma.lg.jp  
広報広聴係(応募部門を明記)



- ①みぞやほぞの加工。②宇造りでたんすの表面を擦る。
- ③ヤシヤの実の煮汁と砥の粉を混ぜた塗料で塗装する。
- ④金物の取り付け。この後鉋で最終仕上げの削りを行う。

の凸部の加工を行います。こうしてたんす枠が組みあがった後に、引き出しの制作に移ります。引き出しは伸縮を考慮したんす枠よりやや大き目に作るそうです。次に、「宇造り」という道具を使ってたんすの表面をこすり、木目を浮き立たせ、特別な塗料を2〜3回重ねて塗装します。これを自然乾燥させた後、カルナバろう(ワックス)を塗り込んでつやを出し、最後に取っ手などの金具を付けて完成です。こうして丹念に作られた桐たんすも、長く使用するうちに板割れやカビが生えてしまうことがあります。が必要な修繕をすれば100年以上の使用に耐えるといえます。

### 現

在、栃木県では、桐たんす職人は染谷さんを含め2人。生活環境の変化により、新しく桐たんすを買い求める人は少なくなり、修理や再生が作業の中心になっていますが、県外からも修繕の依頼があるそうです。修理を経て生まれ変わったたんすを目にしたお客様の笑顔が大きな励みになっていると、染谷さんは目を細めます。

### 木

工のまち鹿沼で、脈々と受け継がれてきた匠の技。作業場で力強く鉋掛けをする染谷さんの姿に、伝統を継承していく強い意志を感じました。

湯の宿に老いし同胞集まりて昔を語る一夜短かき  
 榆木町 渡辺 君子

初春の筑波嶺見据え富士山の白潮歌碑は街も眺むる  
 日吉町 小川 豊治

病みてより蘭の世話すらまならず夫が静かに部屋に並ぶる  
 千 渡 竹澤 雄子

友よりの親王飾りの絵手紙に心ほのぼの笑みがこぼるる  
 西沢町 安達 和子

とりどりの帽子をかぶり園児らは光春めく農道を行く  
 西沢町 阿部 芳江

市民川柳  
 白石 洋 選

ぼやきつつ日陰に咲いた月見草

日吉町 佐野 正晃

この街を聖火が走る春うらら

睦 町 高村 光夫

厚底を履いて伸ばそう歩数計

上野町 高橋 正光

グリーンと鳴る楽器に化けて国を出る

上日向 島山 茂

血税で仲良しだけが桜見る

戸張町 福田 進亮

むこさんへスマホの操作頭下げ

酒野谷 杉山 進

新型へ地球まるごとワンチーム

万 町 海原ゆう子

ひとつだけの花を泣かせせる白い粉

板 荷 島田 ふみ

## 我が家のアイドル募集

締切は、1歳の誕生日です。お子さんの名前(ふりがな)・性別・誕生日・住所・電話番号・保護者氏名を書いた「メモ書き」と写真(裏面に名前明記)を、郵送、メール(5MB以内)、または直接広報広聴係(市役所本館3階)へお持ちください。

※写真は頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるものを用意してください。

〒322-8601 今宮町1688-1

広報広聴係「我が家のアイドル係」  
メール koho@city.kanuma.lg.jp

右のQRコード  
からもアクセス  
可能



1歳を迎えたお子さんを紹介します。  
※11月16日～12月10日生掲載



北半田  
早乙女 壘音くん  
(H30.11.16生)



千渡  
中嶋 寛太くん  
(H30.11.18生)



草久  
福田 迅くん  
(H30.11.18生)



上殿町  
渡辺 大士くん  
(H30.11.18生)



貝島町  
石川 穂果ちゃん  
(H30.11.21生)



寺町  
鈴木 鳳翔くん  
(H30.11.22生)



貝島町  
有川 英汰くん  
(H30.11.23生)



茂呂  
山本 大賀くん  
(H30.11.25生)



南上野町  
善林 望奈ちゃん  
(H30.11.28生)



戸張町  
高田 知輝くん  
(H30.11.28生)



西茂呂2丁目  
白井 心玲ちゃん  
(H30.11.29生)



千手町  
鹿妻 美音ちゃん  
(H30.12.7生)



下田町  
駒場 咲ちゃん  
(H30.12.9生)



茂呂  
佐藤 明澄ちゃん  
(H30.12.10生)

## 100歳万歳! おめでとうございます。



府所本町  
川島 はつ子さん  
(T9.1.2生)



茂呂  
澤田 タマイさん  
(T9.1.11生)



磯町  
鈴木 フユ子さん  
(T9.1.24生)



亀和田町  
橋本 孝之さん  
(T9.1.27生)